

Weekly Web Meeting

— 5月は青少年奉仕月間 —

会長あいさつ

みなさん こんにちは
本日もWEB例会です。
先週の初めてのWEB例会はいかがでしたでしょうか。

緊急事態宣言が15日に解除になり、3蜜を避ければ通常例会でも開催可能となりました。しかし、残念ですが、準備期間のこともあり、今週もWEB例会とする事がすでに決めてありました。来週こそは、みなさん顔を合わせての通常例会ができると思います。名古屋銀行協会ホテルオークラレストランでのトライアル例会となります。卓話講師は会員の山本文彦さんです。

みなさんは、会合の幹事を経験されている方がほとんどだと思います。ですから、出席者の確認が大変な仕事だということはおわかりいただけると思います。ロータリークラブの通常例会は、出欠を取りません。会場での食事数は、今までの出席者数をベースに、不足にならないよう、少し多めに発注されています。現在のホテルナゴヤキャッスルでもそうですが、予想数量を責任数として支払いを行います。ホテルナゴヤキャッスルは急に人数が増えてもメニューにこだわらなければ対応いただけます。しかし、オークラレストランは小規模ですので、基本的には、例会日は和合クラブ専用になり、予定数の2、3食分しか余裕がないということです。現在は、コロナ禍のなか、各自判断の自由出席というかたちの例会です。出席人数の予測が難しく、不足のないようにしながら、余分な支払いを押さえるための責任数の決定には、頭を悩まされています。状況が落ち着いて、通常の生活に戻って例会が開かれるまでは、悩ましさは続きます。

先週の新会員自己紹介を懐かしく読ませていただきました。私も20年前に、今は退会されたお二人と、3人で自己紹介の卓話をさせていただいたようです。といいますが、緊張してあまり覚えていませんでしたが、ウィークリーに掲載されている記事で確認させていただきました。新会員の方が自己紹介するのを聞いていて、いつも思うのですが、新会員は自己紹介しますが、旧会員のことはよくわかりません。例会や親睦ゴルフの時に直接伺うぐらいです。親しくお話しさせていただいていても、最近のことがほとんどで、過去に遡って伺うことはほとんど無いと思います。しかし、私が入会した頃は、直近の周年事業記念誌を手渡され、その中に、各自の自己紹介的なものが掲載されているのを読みました。私の手元にあるものでは、20周年記念誌の「会員要覧」、30周年誌の「私の一枚の写真」、35周年誌、40周年誌の「会員紹介」です。この頃は、入会時に渡されていないかもしれませんが、再来年の50周年事業の時には、同じようなことが行われると思います。楽しみにお待ちしております。

本日は本来ですと、ファイヤーサイドミーティングの予定でした。ファイヤーサイドミーティングは、本来は例会とは場所を変え、小人数で開く非公式の会合で、新会員へロータリー情報を提供し、公式の場ではなかなか言い出せないロータリーの初歩的な質問などをお聞きする場です。今年は、夜間例会のアトラクション代わりに、稲川クラブ奉仕委員長の軽妙な司会で、若手会員の方々に、今後の抱負やロータリーに入会して感じたことを、忌憚なく語っていく場になると聞いていましたが、残念ながら、夜間例会が中止となり、WEB例会ということになりましたので、準備が難しく、中止とさせていただきます。ファイヤーサイドミーティングの時にお渡しする予定でした「これだけ走っておきたいロータリーの基礎」という、ロータリークラブについてわかりやすく説明されている冊子は、今後の通常例会時にお渡しいたします。

本日の卓話は、青少年奉仕月間ということで、青少年奉仕委員会の担当とさせていただきます。青少年奉仕委員会では、現在、豊ヶ岡学園への優良図書への寄贈とYWCAへの奨学金サポート及び、ローターアクトのお世話をさせていただいております。そこで、卓話は、平木青少年奉仕委員長から、先週予定してました青少年奉仕委員会の豊ヶ岡学園の紹介をさせていただきます。お読みください。

どちらにしろ、来週みなさんにお会いできるを楽しみにしています。

幹事報告

<予定表>

- 5/27 名古屋銀行協会ホテルオークラレストランでトライアル例会
- 6/3 優良警察官表彰 ホテルナゴヤキャッスルにて通常例会
- 6/10 ホテルナゴヤキャッスルにて通常例会
- 6/17 ホテルナゴヤキャッスルにて春の家族会
- 6/22 ホテルナゴヤキャッスルにて6 R C合同例会
(ホスト名古屋東クラブ)
- 6/25 新旧理事会 かもめにて
- 7/1 新年度初めての例会
名古屋銀行協会ホテルオークラレストラン
- 7/8 夜間例会 ホテルナゴヤキャッスルにて

春の家族会および6 R C合同例会についての出欠表を、改めてお送りします。ご返信ください。

委員会報告

米山記念奨学会委員会報告

米山奨学生 間冬婉 の自己紹介です。日本語に慣れていないので、てにをはが一部おかしいところもありますが、意味は通じると判断して、あえて原文のまま掲載することとしました。

米山記念奨学会副委員長・カウンセラー 山田和弘

皆様、こんにちは。令和二年度のロータリー米山奨学生の間冬婉です。私の出身地は中国の黒竜江省です。黒竜江省は中国の東北地方です。冬はとても冷たいです。私の生まれた季節は冬で、名は冬を付きました。今年は30歳になりました。今は名古屋大学理学研究科の博士課程3年生です。専門は化学です。2017年10月に日本に始めて来ました。名古屋大学のG30プログラムに入学しました。そのプログラムは英語授業のプログラムです。名古屋大学で日本語授業を受け取りました。

日本に来る前に私は世界の上位20位の半導体会社(UMC)に働いた。プロセスエンジニアで二年間に働いていました。2015年に中国の修士学位を得る後UMCのシンガポールの支社に半年間の海外研修をしました。その後、中国の厦門に戻って同じ会社の支社を働いてしました。中国で大学院と大学研究科の専攻も化学です。高校生から化学が好きです。将来は化学についての研究を行うことしたいです。そして、博士課程の勉強と留学を準備しました。

前の会社で使う半導体の機械は主に日本製です。日本人設備専門家はその会社にたくさんいます。日本人と友達になりました。相談中は日本国の趣味がますます増えました。これは日本に留学選んだ理由です。名古屋大学の化学と物理専攻のノーベル賞の受賞者は6人です。世界で有名です。名古屋大学理学部の阿波賀ゼミの研究の方向と合わせます。これは名古屋大学選んだ理由です。

阿波賀ゼミは20人以上です。グループは中国人、韓国人、フランス人がいます。阿波賀先生は世界の異文化が理解して外国留学生を大歓迎です。毎週、先生と留学生と一緒に英語で茶話会を行います。私はじめて日本に来る時日本語ほぼ知らなかった。先生とグループメンバーはとても親切です。彼らは私をたくさん助けてくれました。とてもありがたいです。

今は3年生になりました。研究の成果は国際雑誌に掲載された。特許も申請しました。博士の学位を取得した後、アカデミーか産業界を問わず、研究者として活躍したいと考えています。最近の計画は日本に仕事を探しています。

一昨年、私は結婚しました。主人も中国からの留学生です。今は東京工業大学情報学院生です。二人別々住んでいます。休みの日、一緒に日本の美しい景色を味わって美味しいものを食べます。日本の文化と風俗も理解します。将来、二人一緒に日本に生活が決まりました。

今はガイシ財団の留学生寮に住んでいます。寮にいろいろ外国人がいます。時々寮の活動があります。去年12月、寮で餃子パーティーを行いました。財団が周りに住んでいる日本人を集めていただいて、中国留学生が隣人たちに中国餃子の作り方を教えながら、みんな一緒に餃子を作りました。私は餡をやりました。周りの隣人たちに餃子の餡の作り方について日本語で説明しました。最後、皆さんは「とても美味しい」って言うてくれました。とてもありがたい経験でした。

暇の時、私の趣味は水泳です。名古屋大学にプールがあります。毎週の月曜日と木曜日の夕方に利用します。数学専攻の友人と一緒に泳ぎに行きます。ストレスを和らげる体を鍛えます。私料理も興味があります。毎日寮のシェアキッチンに料理を作ります。皆さん自分の国の料理作ってシェアしてとても面白いです。寮の人の仲良いです。生活がとても快適です。日本の料理も好きです。中国でいろいろ日本料理店があります。厦門にいた時2、3週間私よく日本料理を食べました。

日本文化と日本人のしりあいがいるので、日本と母国との架け橋となる人になりたいです。両国の経済、文化の発展向上を希望すると同時に世界の平和と繁栄に奉仕する人になりたいです。

以上です、ありがとうございました。

和合ロータリークラブの皆様、よろしくお願いたします。

本日の卓話

豊ヶ岡学園の紹介

青少年奉仕

委員長 平木聖三



(1) 豊ヶ岡学園正門 (2) 体操 (3) 陶芸

青少年奉仕委員は、毎年の奉仕活動として豊明市にある少年院、豊ヶ岡学園へ訪問し、寄付金を届けております。その寄付金から書籍やDVD等を購入し、少年たちの更生に役立てているそうです。

豊ヶ岡学園には、約半年以内の比較的短期間で改善更生が可能と判断された少年が収容されています。少年たちは、オリエンテーションなどの生活指導、教科教育、園芸や陶芸などの職業指導の他、資格取得などの教育を受ける傍ら、クラブ活動や社会奉仕作業などの特別活動などを行っています。

また、観桜会や納涼祭、クリスマス会などの行事もあるそうです。

私たちが訪問した際、学園内の少年たちは、皆、礼儀正しく真面目にいきいきと園芸や体操に取り組んでいました。学園長に「少年たちは何故犯罪を犯すのか?」と伺ったところ、家庭環境が大きく関わっているとおっしゃっていました。

目を輝かせて活動に取り組んでいる少年たちを目の当たりにし、あらためて、私たちが行っている活動が、彼らの支えとなっていることを実感し、今後も継続していくことが大切さだと感じました。

豊ヶ岡学園の歴史

昭和12年	少年保護団体「豊ヶ岡可塑園」として設立される
昭和24年	新少年院法の施工により、施設が国に移管され「豊ヶ岡農工学院」となる
昭和52年	短期処遇を行う少年院となる
平成4年	名称変更により「豊ヶ岡学園」となる

1日の生活

7:00	起床・朝食
9:00	朝礼 教育活動(実習・教科など)
12:00	昼食・休憩
13:00	教育活動(実習・教科)
17:00	夕食・休憩
19:00	寮別計画活動
21:00	就寝